

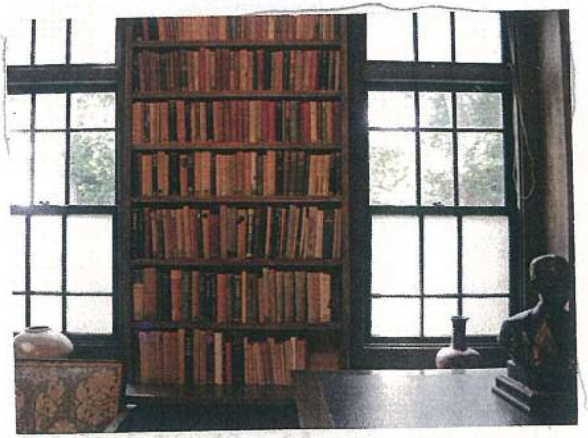
サロンのついて

本だな

本だなは、かべにくついてあります。理由は、いしんがきた時たおれけないようにするためです。

たんろ

火をたいして、今のストーブのようにつかいかい方をしています。けむりやえんとつからやねの上までいいていきます。



サロンのついて

サロニーは南側にあり、冬になっても日があたってあたたかくなります。



昔の手賀沼

杉
村
木
正
人
元
寸

杉村楚人冠について

時代を先取った新聞人

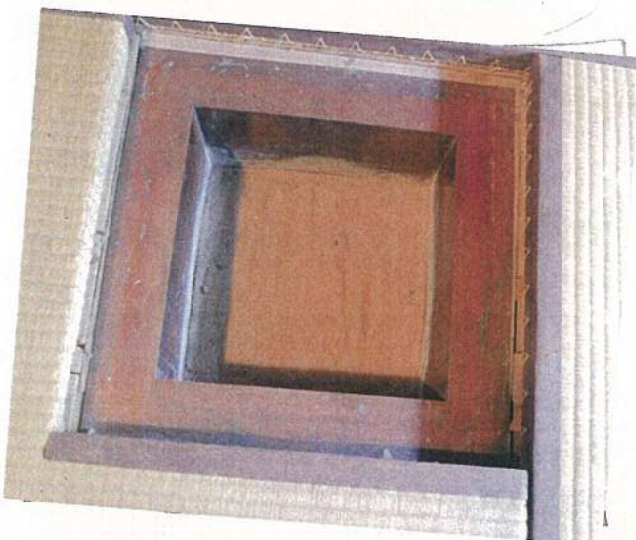
杉村楚人冠は、明治末期から日露戦争期にかけて日本の新聞界で大活躍しました。記事を書くことには、もちろん新しい仕組みを取り入れたり、新聞学を作って記者を育てたりと、新聞事業に多大な足跡を残しました。また、読みやすくてユーモアにあふれた文章から名文家として知られ、多くの工

作やコラムを書いています。明治45年(40歳の時)我孫子別荘地を購入し、関東大震災後に我孫子に移り住み、今楚人冠になっています。



火戸について

火戸は、灰がはいってお茶会をする場所です。火をおこすところでおゆをわかし、お茶をたえます。



古いがまについて

古いがまは、今とちがってゆかれています。今は平らになっていますが昔は、まがって使いました。それでゆかて見えました。



電話室について

昔は、電話はきちんが小さいながらもつられていました。電話のまは、ダイヤルがないので電話にのると、交換台にきます。つぎに番号をいいます。その番号の人にかけます。



書庫について

刻印は、自分の住むばし書かれてあります。ありあすと、あとにたてて

書庫は本を読んだつぎにかき書く時にもあかいます。

